

1. 学校名 対象 (学年、人数)
長野県飯田市立上村小学校 (5・6年 10名)



2. 探究課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1) 活動テーマ

『上村の自然を生かして』

(2) 目 標

上村在住の児童(8名)に加え、市街地から多くの児童(16名)が飯田市特認校制度を利用して本校に通っている。様々な自然体験活動や地域の方々とのやりとりを通して上村のよさに触れた子どもたちが、上村のために自分たちができることを主体的に考え、計画し、実践することを通して、持続可能な地域づくりへ参画しようとする態度や、地域を大切にしようとする心情を持つことができる。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 多様性 (多種多様な現象が起きていること) | <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 (一人ひとりを大切に) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性 (関わりあっている) | <input checked="" type="checkbox"/> 連携性 (互いに連携・協力すること) |
| <input type="checkbox"/> 有限性 (限りがある) | <input checked="" type="checkbox"/> 責任制 (責任を持つて) |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

②育成する資質・能力

- | | |
|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連する SDG s



(5) 探究課題・活動実践の概要

全校児童(24名)が、持続可能な地域づくりの一環として自然の中での学習を行い、それぞれの学年でESDを展開していく。(全校:キャンプ、母子支援施設との交流/1・2年生:お茶染めを地域の文化に/3・4年:霜月祭を知ろう/5・6年:上村の自然を生かして)

3. 流れ (指導計画の概略) 5・6年生

- この地域の特徴であるジオパークやユネスコエコパークについて地域、保護者と共に体験活動(自然塾キャンプ等)を通して学び、それぞれの立場で地域のためにできることを考える。
- 保育園にあったウッドデッキ。このデッキを保育園から撤去するという話を聞き、「どんぐり隊」(上村まちづくり委員会所属)と相談し、小学校の校庭に動かすことを計画。
- ウッドデッキを移築後、移築を進めた理由、これからの願い等を全校児童や保護者に伝え、活用や管理・維持のお願いをする。



4. 効果・反応・所感

子どもたちは自分たちの活動を支えてくれている地域の方へ感謝の気持ちをもった。また、全校児童が地域に対する誇りを共有した。11月30日(土)には、三校絆交流会【飯田市遠山郷三校(遠山中・和田小・上村小)】を行い、ESDの成果を発表した。他者に発信したことは、子どもたちの自信になると同時に、地域の方々を元気づけ、地域の方々が遠山地区のよさを再認識して協働することにつながった。



5. 指導方法・体制の工夫（協力者や資源）

総合的な学習の時間を中心に教科横断的に行った。

上村公民館 上村自治振興センター 遠山中学校 和田小学校